

— 人と自然の明日をつくる —
相生エンジニアリング 株式会社

所在地：〒733-0025 広島県広島市西区小内町2丁目21-9
 TEL : 082-942-1241
 FAX : 082-296-8071
 URL : https://www.aioi-eng.co.jp/
 従業員：48名
 創立：1960年6月15日
 代表者：代表取締役 森脇 克彦



社屋外観



新社名発表「相生」



集合写真

社風・風土

当社では持ち株制度を導入し、役員を含む全従業員の57%が株主となっており、社内株主のみで構成しています。よって、「従業員の従業員による従業員のための会社」という社風が自然に出来上がっています。株主総会は、全従業員が出席可能で、経営状況や経営計画に真剣に耳を傾け、よりよい会社にするべく意見を出し合っています。

社名変更、新たな成長へ

当社は平成から令和に変わる2019年に将来にわたる成長ストーリーを描けるよう、新社名に変更しました。

新社名には「人も自然も活力あふれる地域づくりを目指す」想いと、「共に切磋琢磨し成長できる技術者として技術サービスを生み出し続けたい」想いを「相生」という言葉に重ね合わせ、「相生エンジニアリング」としました。そして2021年度、更なる成長を目指し、新たな中期経営計画をスタートさせました。

当社の事業

当社の技術部は「測量」「補償」「地質」「設計」の4部門で構成しています。その内、設計部門は構造物の点検・補修、鋼構造及びコンクリート、河川・砂防設計、農業土木、道路設計に分かれたチームで業務を遂行しています。

測量部門は、GNSSによる基準点測量や用地測量、UAVを用いたレーザ計測と最新の技術を駆使して、確実かつ正確な測量データを提供しています。また、豪雨時には一級河川太田川水系における流量観測や洪水痕跡調査のほか、被災箇所の測量を迅速に行い、早期復旧に貢献しています。

補償部門は、事業を行う上で支障となる建物や樹木の現状調査や移転に必要な費用の算定を行っています。

地質部門は、構造物や道路の設計を行う上で現地周辺の地盤の状況確認や農業用ため池の耐震点検の一環としてボーリング調査を行っています。調査で得られた地盤解析のデータから知識と経験に基づき地層の硬度を診断し、診断結果から行うべき対策について検



ラウンドアバウト設計



橋梁点検状況



砂防堰堤設計



UAVを用いた測量



ため池堰堤 ボーリング調査



急傾斜地 変状調査



高水流量観測状況



平成30年7月豪雨災害で被害を受けた護岸、道路の施工前後

討、提案しています。

設計部門は、平成26年8月豪雨や平成30年7月豪雨に見舞われたことを背景に河川護岸、砂防堰堤の設計により一層力を入れています。このほか、老朽化の問題をかかえているトンネル、橋梁の点検にも力を入れており、点検車やUAVを用いて構造物の損傷箇所を隅々まで把握し、適切な補修案を提供しています。

当社の強み

平成30年7月豪雨に見舞われた際、河川護岸の被災により道路の全壊が生じた東広島市河内町に入り、全社一丸となって災害対応業務に取り組みました。現地調査では若手社員がリーダーシップを発揮し、ベテラン社員と解決策を検討しながら、技術者として互いに意見を出し合い、現場作業や設計業務をやり切りました。

最近では、広島県初となるラウンドアバウトの道路修正設計に携わりました。設計にあたっては主に、用地の制約、接続道路の中心線形との整合、軟弱路床上の舗装計画、交差点周辺の排水計画などの問題が発生しました。当社においては道路設計の経験が豊富な社員及

び、地質部門による軟弱地盤の解析等によって上記問題の解決策を提案し、業務を遂行しました。

- これらの背景から当社の強みとしては
- ・若手社員が先頭に立って活躍する機会がある点
 - ・どんな業務にも対応できる協力体制をもつ社風がある点
- が挙げられます。

より良い環境づくり

当社は、個々のワークライフバランスの安定がより高い生産性に寄与すると考えています。そのため、育児や介護等によりフルタイム出勤できない従業員に対し、時短勤務や育休制度の充実に取り組んでいます。また、コロナ禍で通常出勤が困難な従業員に対し、テレワーク勤務や時差出勤等に取り組んでいます。このほか、5年間で毎年休日を増やしていく計画を実行中です。今後も「働き甲斐がある会社」にすべく環境整備を進めていきます。

(文：総務部 松村有規/技術部 手島嘉也)